

指定管理者評価シート

事業名	地域コミュニティ施設運営管理費	所管課(電話番号)	白石区市民部地域振興課(861-2422)
-----	-----------------	-----------	-----------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市白石東地区センター	所在地	札幌市白石区本通16丁目南4-27
開設時期	平成8年5月10日	延床面積	1,219.88㎡
目的	地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与する。		
事業概要	(1) 各種講習会、講演会等の開催、体育、各種野外活動等のレクリエーション活動の推進、その他必要な事業を行うこと。 (2) 一般の使用に供すること。		
主要施設	図書室、ホール、集会室、実習室、和室等		
2 指定管理者			
名称	札幌市白石東地区センター運営委員会		
指定期間	平成26年4月1日～平成30年3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由: 当センターが、地域社会に関係の深い団体によって継続的に管理運営されることにより、地域住民がまちづくり活動に直接参加する機会が作られ、地域住民自らがセンターの管理運営を通して把握された地域課題の解決に取り組むことにより、地域住民間の信頼関係が築かれ、地域社会における絆の強化につながる事となる。また、まちづくり活動の担い手の育成に寄与することも期待される。このようなことから、設置目的の実現のために、地縁による団体により設立された団体及び当該設立された団体を主な構成員とする団体並びに当センター等の管理運営に関わりを持つものと市長が認める地縁による団体の推薦を受けた団体により、現に良好な管理運営が行われている場合には、継続的に管理運営を行わせるために非公募としたもの。		
指定単位	施設数: 1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	(1) 統括管理業務 (2) 施設・設備等の維持管理に関する業務 (3) 事業の計画及び実施に関する業務 (4) 施設の利用等に関する業務 (5) 前各号に掲げる業務に付随する業務		
3 評価単位	施設数: 1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 平成29年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価								
1 業務の要求水準達成度											
(1) 統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>地域住民の生涯学習やまちづくり活動の拠点としての公的施設の特徴を最大限に活用し、利用促進を最大の目的とし、地域住民組織との協働事業を実施するなど、引き続き住民参加型の運営に重点を置いた。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>地域住民の誰でもが気軽にかつ安心して利用できる地区センターづくりを推進している。地区センターの存在・活動を広く周知するため毎月発行の地区センターだよりやホームページの活用など、広報活動を充実させ利用促進を図った。</p> <p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>▼光熱水費については、引き続き照明器具の間引きや、暖房器具の効率的な使用などの節約に努めるとともに、利用者にも協力を求めた。</p> <p>▼事務局や各事業で使用する用品等は、グリーン購入ガイドライン指定品を購入・使用している。</p> <p>▼札幌市環境マネジメントシステムに則り、ゴミ排気量や公共料金集計や該当の各種帳票を提出した。</p> <p>▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)</p> <p>事務局職員の交替はなかった。各職員がそれぞれの担当職務を十分に理解し業務を遂行しており、円滑な施設運営が確保されている。また、職員研修も外部研修を活用し、職員の資質の更なる向上を図った。また、労働基準監督署への時間外・休日労働に関する協定届の提出も行った。</p> <p>▽ 管理水準の維持向上に向けた取組</p> <p>朝礼等を通じて職員間の情報の共有化を図り、窓口での接遇技術の向上や円滑な施設の管理運営に努め、事務局体制の更なる強化を目指した。</p> <p>▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)</p> <p>施設・設備の維持管理業務を集約し、合理的な業務遂行を行っているが、早期の不具合発見や、特に休日における緊急事態の対応など、その効果が発揮されている。また、警備、電気工作物保安管理業務等についても第三者委託を行ったが、何れの業務も適正に業務遂行された。</p>	<p>施設の利用料金収入などは順調に推移しており、健全な地区センター運営が維持されている。サポーター事業や自主事業の古紙回収事業もほぼ定着し、安定的な運営に貢献している。施設運営に関する利用者の評価も高く、引き続き利用者参加型で地域に密着した地区センターづくりを進めている。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1236 280 1292 313">A</th> <th data-bbox="1292 280 1348 313">B</th> <th data-bbox="1348 280 1404 313">C</th> <th data-bbox="1404 280 1449 313">D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" data-bbox="1236 313 1449 1814"> 協定書に定められているとおり、適切に実施されており、要求水準を満たしている。また、従前から実施している利用者参加型のサポーター事業及び古紙回収事業もほぼ定着し、地域住民とともに安定的な運営がされている。今後も適正な運営に努めつつ、コミュニティ活動の活性化につながる取組みを継続していただきたい。 </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	協定書に定められているとおり、適切に実施されており、要求水準を満たしている。また、従前から実施している利用者参加型のサポーター事業及び古紙回収事業もほぼ定着し、地域住民とともに安定的な運営がされている。今後も適正な運営に努めつつ、コミュニティ活動の活性化につながる取組みを継続していただきたい。			
A	B	C	D								
協定書に定められているとおり、適切に実施されており、要求水準を満たしている。また、従前から実施している利用者参加型のサポーター事業及び古紙回収事業もほぼ定着し、地域住民とともに安定的な運営がされている。今後も適正な運営に努めつつ、コミュニティ活動の活性化につながる取組みを継続していただきたい。											

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 (館長会議) 7/4	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者の平成30年度一斉更新スケジュールについて ・仕様書の変更点(予定)について ・利用状況及び利用率向上の取組について ・まつり(文化祭)について
第2回 8/30	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度事業報告について ・平成29年度事業計画について
第3回 (館長会議) 11/24	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者の更新について ・ウェブアクセシビリティについて ・広報さっぽろのリニューアルについて ・備品購入について ・利用状況及び利用率向上の取組について
第4回 (館長会議) 2/16	<ul style="list-style-type: none"> ・菊水元町地区センター財務関係業務視察 ・指定管理協定書の締結について ・広報さっぽろのリニューアルについて ・利用状況及び利用率向上の取組について
第5回 3/15	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業の実施状況について ・平成29年度予算の執行状況について
<p><協議会メンバー></p> <p>白)地域振興課長、同課地域活動担当係長、東白石町連総務部長、大谷地第一町内会副会長、折紙サークル代表、開放事業代表、運営委員会会長、同総務部長</p>	

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

管理運営資金の健全な運用を図るため、運営委員による事務執行状況の確認を毎月実施している。特に、現金の取り扱いについては、現金取り扱い規定を定めており、現金の適正な管理を行っている。また、万が一の事故に備えて、動産損害保険に加入している。

▽ 要望・苦情対応

特に重要な要望・苦情はなかった。軽微な要望・苦情については、その内容を検証し、改善を要する事項については、職員に周知し再発防止を図っている。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)

▼利用者アンケートを実施し、222名から回答を得た。アンケート結果は4週間ロビー掲示板に掲示した。

▼札幌市の業務検査では特に改善すべき指摘・指導はなかった。引き続き適正な事務執行に配慮している。

▼その他事業報告等についても、札幌市の指示に沿って処理した。

<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼施設に勤務するパート職員に対し、最低賃金786円(2016年10月1日発効)を上回る800円の時給を支給した。(2017年10月1日810円に改定したため、同日から同額支給) ▼施設に勤務する職員に対し、時間外労働・休日労働をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。 ▼施設で働く職員は、1週40時間、1日8時間を順守した。 ▼施設で働く職員に、時間外労働又は休日労働させる場合は、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、労働基準監督署に届け出た。 ▼すべての労働者を労災保険に、条件を満たす労働者を雇用保険に加入させた。 ▼労働者の勤務形態、家族状況等に応じて年金保険、医療保険に適切に加入させた。また、必要に応じて適切に届出等を行った。 ▼常勤職員には、1年に1回の定期健康診断を実施した。 ▼労働基準監督署からの行政指導を受けなかった。 ▼職員の労働意欲の向上につながるよう、様々な労働環境の改善に努めている。 	<p>職員の労働に関する法令の順守や、雇用環境の向上には引き続き配意した。また、職員の窓口業務の質的向上や、管理コスト縮減の意識を醸成するために機会を見て外部研修等でスキルアップを図り、更に職員相互の情報共有を進めるなど、働きやすく働き甲斐のある職場づくりに努めている。</p>	<table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td colspan="4"> 各種法令を順守し適正な運営を行っており、要求水準を満たしている。今後も引き続き、継続した取組みを実施していただきたい。 </td> </tr> </table>	A	B	C	D	各種法令を順守し適正な運営を行っており、要求水準を満たしている。今後も引き続き、継続した取組みを実施していただきたい。			
A	B	C	D								
各種法令を順守し適正な運営を行っており、要求水準を満たしている。今後も引き続き、継続した取組みを実施していただきたい。											
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼事故防止のため、施設内の貸室、共用部分の備品配置に配慮し、利用者の安全確保に努めている。特に、冬季間の館内床面のスリップ事故防止対策には重点的に取り組んでいる。 ▼損害賠償保険は仕様に適合した保険に加入。 <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼施設・設備の維持管理業務は、全て第三者委託により実施したが、何れも適切に業務遂行された。 ▼トイレの水栓取替や排水管の修繕等を行った。また、1階女子トイレの便器交換、玄関自動ドアセンサーの交換、集会室スライディングウォールの修繕を、札幌市の経費負担で実施した。 ▼構内の高木の剪定は第三者委託により実施したが、低木類の冬囲い及びその撤去はサポーターの協力で行った。 <p>▽ 防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼職員研修に併せて防災訓練を2回実施した。 ▼災害時における避難所の開設・運営に関し、札幌市との連携等、職員間の情報共有を図った。 	<p>近年、地区センター内の施設・設備は経年劣化が進み、破損、故障が頻発している。それらに対処する経費の増加が負担になっているが、予算執行の工夫や、サポーター事業の活用などで補い、利用者の安全・快適な利用を確保するため、その都度必要な修繕等を行っている。</p>	<table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td colspan="4"> 施設・設備の経年劣化により頻発する破損・故障に対し、経費削減に努めつつ、利用者の安全確保及び利便性向上のため、適切に対処していると評価でき要求水準を達成している。また、第三者委託のみならず、サポーターの協力を得ながら維持管理を継続しており、今後も引き続き適正な運営に努めたい。 </td> </tr> </table>	A	B	C	D	施設・設備の経年劣化により頻発する破損・故障に対し、経費削減に努めつつ、利用者の安全確保及び利便性向上のため、適切に対処していると評価でき要求水準を達成している。また、第三者委託のみならず、サポーターの協力を得ながら維持管理を継続しており、今後も引き続き適正な運営に努めたい。			
A	B	C	D								
施設・設備の経年劣化により頻発する破損・故障に対し、経費削減に努めつつ、利用者の安全確保及び利便性向上のため、適切に対処していると評価でき要求水準を達成している。また、第三者委託のみならず、サポーターの協力を得ながら維持管理を継続しており、今後も引き続き適正な運営に努めたい。											

(4)事業の計画・実施業務	▽ 区民講座に関する学習機会の提供業務	区民講座はパソコン講座を中心に16講座を実施した。パソコン講座は最新の基本ソフト操作に関する内容の講座に多くの受講者があったほか、根強いニーズがあり今しばらくは継続することとしている。地域交流事業に関しては、「地域との協働」に重点を置いた事業を実施した。近隣の2町内会連合会との共催事業の開催や、スポーツ系(3種目)や囲碁を楽しむ会は、勝敗にこだわらない参加者の交流を目的とした形式で実施し、住民の親睦・交流促進の目的を達成している。	A	B	C	D																				
			▼パソコン講座を9回実施。79名受講。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 募集人員 各回20人 計180人 ・ 目標 各回90% 計162人 ・ 実績 計79人 ・ 目標達成率 48.8% ▼まきずし講習会、小筆教室など新規開催も含めて、7回の区民講座を開催し、51名の受講があった。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 募集人員 計118人 ・ 目標 各回90% 計106人 ・ 実績 計51人 ・ 目標達成率 48.1% ▽ 地域住民の交流等を目的とした事業に関する業務 ▼第20回目の文化祭を開催。初めての企画でプロの芸人をゲストにアトラクションを実施した。例年にも増してにぎやかな文化祭となり、830人を超える地域の方々に参加していただいた。 ▼スポーツ系3種目と囲碁を楽しむ会を開催。延107名参加。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>楽しむ会</th> <th>募集</th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>目標達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>囲碁</td> <td>30</td> <td>27</td> <td>18</td> <td>66.7%</td> </tr> <tr> <td>グラウンドゴルフ</td> <td>60</td> <td>54</td> <td>45</td> <td>83.3%</td> </tr> <tr> <td>テニポン</td> <td>30</td> <td>27</td> <td>24</td> <td>88.9%</td> </tr> <tr> <td>ゲートボール</td> <td>30</td> <td>27</td> <td>20</td> <td>74.1%</td> </tr> </tbody> </table> ▼ミニコンサートを3回実施。延148名が参加した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 募集人員 各回60人 計180人 ・ 目標 各回90% 計162人 ・ 実績 計148人 ・ 目標達成率 91.4% ▽ 施設開放事業(無料)に関する業務 ▼卓球・テニポン等のスポーツ系を週7回(冬期間は週9回)、囲碁・将棋を週2回、開放事業として実施した。従来土曜日午後卓球との併用であった「ファミリー」は、日曜日午後「ファミリー専用」として実施した。延5,556人が参加。 ▽ 図書業務 ▼約26,100人の来室者があり、約93,300冊の貸し出しがあった。 ▼近隣小学校からの体験・見学学習を受け入れた。(2件)	楽しむ会	募集	目標	実績	目標達成率	囲碁	30	27	18	66.7%	グラウンドゴルフ	60	54	45	83.3%	テニポン	30	27	24	88.9%	ゲートボール	30	27
楽しむ会	募集	目標	実績	目標達成率																						
囲碁	30	27	18	66.7%																						
グラウンドゴルフ	60	54	45	83.3%																						
テニポン	30	27	24	88.9%																						
ゲートボール	30	27	20	74.1%																						

(5)施設利用に関する業務		▽ 利用件数等			サークルなどは会員の高齢化により定期で利用するというケースは減少の状態が続いている半面、不定期で利用される団体が増加傾向にある。地区センターだよりやホームページなどの広報の効果が出ているものと思われる。前年度比で見ると、利用件数は僅かに減少しているが、収入ベースでは4.7%増加している。	A B C D				
			H28実績	H29計画		H29実績	受付業務等については、仕様書に定めたとおり適切に実施されており、要求水準を満たしている。利用率は目標を若干下回っており減少傾向にあることから、より一層利用促進に向けた取り組みに努めていただきたい。			
ホール	件数(件)	714	710	743						
	人数(人)	17,498	18,000	17,469						
	稼働率(%)	65	66	67						
	集会室	件数(件)	1,187	1,200						1,054
		人数(人)	10,388	10,500						8,976
		稼働率(%)	56	55						49
	実習室	件数(件)	554	559						571
		人数(人)	7,150	7,200						7,348
		稼働率(%)	53	52						53
	和室	件数(件)	635	600						598
		人数(人)	7,066	6,800						6,723
		稼働率(%)	63	56						59
計	件数(件)	3,090	3,069	2,966						
	人数(人)	42,102	42,500	40,516						
	稼働率(%)	57	57	56						
		▽ 不承認 0件、取消し 0件、減免 0件、還付 0件								
		▽ 利用促進の取組								
		▼各種行事開催時、参加者に施設の利用を呼び掛けるとともに、広報紙「地区センターだより」でも利用案内している。また、ホームページに「貸室利用状況」を掲載して利用促進を図るとともに、新聞社が発行するタウン情報紙にも行事情報を提供し発信している。								
(6)付随業務		▽ 広報業務			広報紙による広報活動の強化と、ホームページの充実が利用促進につながっている。ホームページには毎月約750件(前年は700件)のアクセスがある。なお、新聞社が発行する情報紙にも積極的に情報提供している。	A B C D				
		▼東白石・白石東町内会連合会の全区域に、事務局で編集・印刷した「地区センターだより」を回覧している。また、ホームページの更新・管理を強化し、利用者に新鮮な情報を提供している。なお、白石東地区センターのホームページは、JIS X8341-3:2016に基づき、ウェブアクセシビリティ向上を目指し、JIS X8341-3:2016の適合レベルAAIに配慮することを目標としている。				仕様書に定めたとおり、適正に実施されており、要求水準を満たしている。また、ホームページのアクセス数も増加しており、あらゆる広報媒体を利用し、今後もより効果的な広報活動に努めていただきたい。				
2 自主事業その他										
▽ 自主事業					自主事業の古紙回収事業は札幌市の環境行政に貢献している。この事業収入は当会の貴重な収入であり、地域還元の原因として行っている資源回収事業を圧迫することのないよう留意しながら事業を進めている。	A B C D				
		▼古紙回収事業				古紙回収事業は札幌市の環境行政に資するものであり、利用者への還元もなされていることから、今後も近隣町内会の事業とのバランスを考慮しつつ、更なる充実を図っていただきたい。				
		回収総量 11,702 kg								
		奨励金等 43,570 円								
		▼事業収入は、利用者が参加する地域交流事業の参加賞購入費に充当するなど利用者(地域住民)に還元した。								
		▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等								
		▼施設の維持管理業務の第三者委託や物品購入は、市内事業者が発注した。								

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果			A	B	C	D
実施方法	平成30年2月8日～平成30年3月2日 貸室、施設開放、図書室利用者に協力依頼 回答者222人	<p>総体的に多くの利用者から高い評価を得た。一方、施設の老朽化が進行していることから、日常の維持管理に留意した施設運営が必要である。衛生面や室内環境など、細やかな気配りが求められており、より一層利用者目線での管理が必要と認識している。また、利用者サービスの質を向上させるため、引き続き職員のスキルアップに努める。なお、各種事業の実施にあたっては、利用者のニーズを的確に把握し、新たな感覚で推進する。</p>	A	B	C	D
結果概要	<p>・今後も地区センターを利用したいかとの問いに、是非利用したいが76.6%、利用したいが21.2%、どちらかと言えば利用したいが1.8%であった。図書室を含めて、地区センターを今後利用したくないという利用者は皆無だった。</p> <p>・事務室及び図書室における職員の接客態度については、全ての利用者から普通以上と評価されている。</p> <p>・区民講座受講経験のある利用者は26.8%であり、講座の満足度は、満足度5、4、3何れも32.4%であった。</p> <p>・地域交流事業に参加したことのある利用者の満足度は、満足度5が38.7%、満足度4が44.5%、満足度3及び満足度2が16.7%であった。</p> <p>・館内の清掃状況については、全ての利用者が普通以上と評価している。</p>					
利用者からの意見・要望とその対応	<p>【意見①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本の数を増やしてほしい。 ・図書数少ない。古いものが多く新刊希望。 <p>【対応】</p> <p>配架スペースや購入予算等の条件もあり十分な対応は困難です。新刊については中央図書館に要望する。</p> <p>【意見②】</p> <p>図書室が寒い。</p> <p>【対応】</p> <p>施設内の環境については、皆様の要望を参考に適切に管理してまいります。</p> <p>【意見③】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他に比べて料金が高いような気がする。 ・体育館の料金を安くしてほしい。 ・会場費を安くしてほしい。 <p>【対応】</p> <p>利用料金は札幌市の条例で定められています。当面は改正の予定はないと伺っています。</p> <p>【意見④】</p> <p>体育館や図書室は、24時間利用できるようにすべきだ。</p>					

【対応】

札幌市が判断する事項ですが、費用対効果の観点からも困難と思われます。

【意見⑤】

座布団カバーを定期的に洗ってほしい。

【対応】

特に和室で使用している座布団の状態が悪化していましたので、入れ替えを致しました。

【意見⑥】

高齢者や小学生が参加できるものは豊富だが、子育て世代がこども連れで参加できるイベントを。

【対応】

30年度事業で、親子で参加していただく新規事業を企画することとしています。

4 収支状況

▽ 収支 (千円)

項目	H29計画	H29決算	差
収入	32,740	32,736	▲ 4
指定管理業務収入	32,680	32,693	13
指定管理費	26,661	26,661	0
利用料金	5,100	5,622	522
その他	919	410	▲ 509
自主事業収入	60	43	▲ 17
支出	32,740	32,573	▲ 167
指定管理業務支出	32,680	32,530	▲ 150
自主事業支出	60	43	▲ 17
収入-支出	0	163	163
自主事業による利益還元	0	0	0
法人税等	0	0	0
純利益	0	163	163

【参考】	H29決算	内容
指定管理業務による利益還元	0	

▽ 説明

▼利用料金収入は、総件数は減少したものの、単価の高いホールの件数が増加したことにより予算比522千円の増となった。

▼その他収入は、講座受講料収入と雑収入である。

▼利益還元は、自主事業収入を地域交流事業参加賞等の購入費に充当した額である。

除排雪経費が新たに発生したが、利用料金収入が計画を上回ったことと、他の経費の削減などにより健全な財政運営ができた。

A	B	C	D
講座受講料収入が計画を大幅に下回ったものの、利用料金収入が昨年を上回っており、経費削減も含め、単年度収支が黒字になっている点は評価できる。今後も引き続き、利用者ニーズの把握や広報活動を工夫し、安定した財政運営を行っていただきたい。			

＜確認項目＞ ※評価項目ではありません。		
▽ 安定経営能力の維持 ▼当会の財務状況は利用料金収入の順調な増加とともに、経費の節減効果により、引き続き安定した経営を維持している。		適 不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ▼各条例の規定に則り、全て適切に対応した。 ▼情報公開請求及びオンブズマンへの調査申し立てはなかった。 ▼協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。		適 不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>利用料金収入が計画を上回るとともに、経費の節減に努めた結果、安定した施設運営を行うことができ、施設・設備の維持管理も支障なく実施できた。また、事業面ではパソコン講座を中心に、新規も含めての市民講座や、利用者の交流を目的とした事業を実施したほか、サポーター事業の継続や、ホームページ・地区センターだよりなどの広報活動を通じ、なお一層の利用者の拡大と、利用者に愛される地区センターづくりを目指している。</p>	<p>平成29年度の単年度では約163千円の利益が出たものの、次年度以降についてもより計画的な資金管理を行い、健全な財政基盤を確立するために、これまで続けてきた各種事業を通じて、引き続き地域に密着した施設運営を行う。平成30年度も東白石・白石東両町連などの各種住民組織との協働事業を積極的に実施し、地域との一体感の醸成に努め、利用促進に繋げる。特に、親子連れで参加できる新規事業を企画するなど、地域の子供たちの健全育成につながる事業の展開を図る。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>継続して実施しているサポーター事業により、利用者にも運営の一翼を担っていただくことで、より地域に密着した施設として管理運営がされていることは評価できる。 また、例年開催している事業の内容を見直し新たな企画を盛り込むなど、利用者数の増加や地域コミュニティ活動の促進にも積極的に取り組んでいる。 今後も引き続き利用者ニーズを的確に把握し、広報活動等の充実により利用件数・利用率の向上を図るとともに安定的な運営に努めていただきたい。</p>	